

令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和5年8月10日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名)上席執行役員 感動創造支援本部本部長 (氏名)加藤 康章 (TEL) (052)551-0274
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の業績（令和5年4月1日～令和5年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	1,009	21.8	79	—	83	—	66	—
5年3月期第1四半期	828	42.6	△13	—	△9	—	△14	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	125.35	—
5年3月期第1四半期	△26.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	4,562	3,269	71.7
5年3月期	4,398	3,168	72.0

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 3,269百万円 5年3月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	6.4	100	—	120	—	100	—	188.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期1Q	540,000株	5年3月期	540,000株
② 期末自己株式数	6年3月期1Q	9,363株	5年3月期	9,363株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期1Q	530,637株	5年3月期1Q	530,753株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症法上の分類が5類に移行したことにより、経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、不安定な国際情勢によるエネルギー価格・原材料価格の高騰による物価高など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような状況のもと当社では、より一層のサービスの充実を図り、よりお客様が安心してご利用いただける環境を創ってまいりました。また、原材料等の高騰にも対応しつつ、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、売上高は10億9百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益は79百万円（前年同期は営業損失13百万円）、経常利益は83百万円（前年同期は経常損失9百万円）、四半期純利益は66百万円（前年同期は四半期純損失14百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ事業においては、名古屋地区の映画・映像の情報発信基地として、より豊富なラインナップの提供を実現しました。主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「東京リベンジャーズ 血のハロウィン編 運命」、劇場版「TOKYO MER～走る救急救命室～」、6月公開「怪物」、洋画では、5月公開「ワイルド・スピード/ファイヤーブースト」、6月公開「リトル・マーメイド」、「インディ・ジョーンズと運命のダイヤル」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 黒鉄の魚影」、「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」、ODSでは、4月公開「滝沢歌舞伎ZERO FINAL」などの番組を編成いたしました。

また、お客様参加型のトークイベント付上映会の実施や、映画の予告編・宣伝にスポットを当てたイベントの企画・運営など、映画文化の活性化を進めるための活動も行ってまいりました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、商品にこだわり、より安全で健康にも配慮した食材を使用した商品の提供するとともに、イベント等も積極的に実施しながら、お寛ぎいただける空間の創造に努めてまいりました。また名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画とのコラボレーション企画で、店内装飾や商品開発を実施するなど、お客様にご満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

その結果、売上高は9億40百万円（前年同期比25.3%増）、セグメント利益は78百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、引き続き映画関連を中心とした営業活動をいたしました。映画関連及び催事・イベント等の開催は回復傾向にあるものの、依然厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は49百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、商業施設賃貸を中心に事業を行い、賃貸物件の稼働率は安定し、堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は20百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は45億62百万円となり、前事業年度末に比べ1億63百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産の増加1億12百万円となっております。

負債合計は、12億93百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債の増加39百万円となっております。

純資産は、32億69百万円となり、前事業年度末に比べ1億円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、令和5年5月12日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,481	858,939
受取手形及び売掛金	234,217	254,931
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	9,655	9,014
原材料及び貯蔵品	2,243	1,867
前払費用	29,999	29,111
預け金	47,032	44,677
未収還付法人税等	1,919	2,878
その他	23,944	27,931
流動資産合計	1,416,493	1,529,351
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	836,463	812,242
構築物（純額）	466	2,870
機械装置及び運搬具（純額）	34,909	44,297
工具、器具及び備品（純額）	240,414	224,685
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	—	7,835
有形固定資産合計	1,808,166	1,787,845
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	64,106	60,190
無形固定資産合計	65,254	61,337
投資その他の資産		
投資有価証券	553,102	625,035
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	516,026	515,549
長期前払費用	29,281	33,075
投資その他の資産合計	1,108,410	1,183,659
固定資産合計	2,981,830	3,032,842
資産合計	4,398,324	4,562,194

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	371,008	410,166
リース債務	60,981	58,772
未払金	33,350	5,875
未払法人税等	7,244	15,595
未払消費税等	29,212	—
未払費用	99,851	115,839
契約負債	45,957	49,733
従業員預り金	4,304	5,610
賞与引当金	17,750	9,200
その他	43,092	81,332
流動負債合計	712,754	752,125
固定負債		
リース債務	177,819	177,956
退職給付引当金	75,330	76,915
長期末払金	21,500	21,500
資産除去債務	88,515	88,887
受入保証金	88,152	83,254
繰延税金負債	65,752	92,479
固定負債合計	517,070	540,992
負債合計	1,229,824	1,293,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	128,327	112,407
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	205,836	272,352
利益剰余金合計	2,781,663	2,832,260
自己株式	△71,755	△71,755
株主資本合計	2,979,921	3,030,518
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188,578	238,557
評価・換算差額等合計	188,578	238,557
純資産合計	3,168,500	3,269,075
負債純資産合計	4,398,324	4,562,194

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	828,677	1,009,664
売上原価	443,439	495,150
売上総利益	385,237	514,513
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	7,631	9,823
人件費	135,125	144,517
賞与引当金繰入額	8,400	9,200
退職給付費用	2,296	1,584
減価償却費	44,875	48,192
地代家賃	101,493	101,217
水道光熱費	18,026	21,087
修繕費	767	823
その他	80,455	98,093
販売費及び一般管理費合計	399,073	434,539
営業利益又は営業損失(△)	△13,835	79,974
営業外収益		
受取利息	632	631
受取配当金	4,596	5,632
助成金収入	1,500	—
その他	290	286
営業外収益合計	7,018	6,550
営業外費用		
長期前払費用償却	1,517	1,517
その他	829	1,277
営業外費用合計	2,346	2,794
経常利益又は経常損失(△)	△9,163	83,729
特別利益		
固定資産売却益	—	116
特別利益合計	—	116
特別損失		
固定資産除却損	—	526
特別損失合計	—	526
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△9,163	83,319
法人税等	4,917	16,803
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,081	66,515

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	721,921	—	—	721,921	—	721,921
飲食店関連	28,527	—	—	28,527	—	28,527
看板製作及び広告関連	—	57,879	—	57,879	—	57,879
顧客との契約から生じる 収益	750,449	57,879	—	808,328	—	808,328
その他の収益	—	—	20,349	20,349	—	20,349
外部顧客への売上高	750,449	57,879	20,349	828,677	—	828,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	750,449	57,879	20,349	828,677	—	828,677
セグメント利益又は損失 (△)	△12,097	△9,922	8,184	△13,835	—	△13,835

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	903,915	—	—	903,915	—	903,915
飲食店関連	36,405	—	—	36,405	—	36,405
看板製作及び広告関連	—	49,244	—	49,244	—	49,244
顧客との契約から生じる 収益	940,321	49,244	—	989,565	—	989,565
その他の収益	—	—	20,099	20,099	—	20,099
外部顧客への売上高	940,321	49,244	20,009	1,009,664	—	1,009,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	940,321	49,244	20,009	1,009,664	—	1,009,664
セグメント利益又は損失 (△)	78,095	△6,376	8,254	79,974	—	79,974

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。